

**問** 公用車にドライブレコーダーの活用を

①ドライブレコーダーを設置し、警察と映像提供に関する協定を結び、情報提供する考えは。②「ドライブレコーダー作動中」のステッカーを使用する考えは。③自主防災車両の区長所有の「青パト」や交通安全協会パトロールカーなどに、設置費用を助成する考えは。

**答** 協定の締結や情報提供を検討していく

車両入替時に合わせドライブレコーダーを設置していく。また、映像提供の協定やステッカー使用などについては、先進自治体の事例を参考に検討していきたい。現在のところ交通安全協会などに対する設置費用の助成予定はないが、各団体に設置をお願いしていく。



高木隆三 議員  
(公明党)



市内の踏切

**問** 徘徊中の事故に公費負担で保険を

認知症高齢者が、徘徊中事故に遭い、高額の損害賠償を請求されて家族が苦しむ事態を回避しようと、神奈川県大和市では、公費で保険料を全額負担する制度を導入した。市においても、本人と支える家族の安心に繋がる取組を実施する考えはないか。

**答** 調査・研究し認知症徘徊対策に取り組む

市では、認知症徘徊高齢者の対策の一環として、早期発見ステッカーの配布や、認知症カフェの開設、認知症サポーター養成講座などを実施している。今後も、先進地の状況や近隣市町との情報交換を行い、調査・研究し認知症徘徊対策に取り組んでいく。

**問** 駅長・駅員の不在を問う

白岡駅の乗降客を軽視し、運行上の要所に人員を配置しないのは、鉄道の公共性を考えれば極めて問題であると考え。交通インフラの的確な整備という面からも、白岡駅の人員配置の改善と「みどりの窓口」の再整備を求めたい。

**答** 駅の利便性向上に繋がるよう努めていく

現在の白岡駅の人員配置などは、市民生活の低下を招いていると認識している。これまでも改善の要望をしてきたが、今後もさまざまな機会を捉え、継続的に市民の声を鉄道事業者であるJR東日本に伝え、駅の利便性向上に繋がるように努めていく。



細井 公 議員  
(白新会)

**問** 水道管の早期改修交換を

市内の水道管のうち石綿セメント管、いわゆるアスベスト水道管について交換の進捗状況を伺う。

また、使用区域の住民の胸部悪性腫瘍死について、住民が粉じんによるアスベスト被害にあう可能性などを考慮し、市としての安全性確認などを行ったのか伺う。

**答** 計画的かつ速やかに更新を進める

石綿セメント管については、市内全体で約18km使用しているが、補助金を活用しながら、毎年2km程度更新している。安全性の確認については、管の撤去時に石綿粉じんの飛散を防ぎ、適切に処理するように水道工業者に確認、指導している。

